
キス ~Lovers Wish~

くすた 朔

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

キス ～Lovers Wish～

【Nコード】

N1896B

【作者名】

くすた 朔

【あらすじ】

『キス』にまつわる、10組の恋人達のエピソード。時には甘く、時には苦く 『キス』は、その時の気持ちや雰囲気、場所によって味を変える。これは、ドラマティックだけれど、どこか日常的な『キス』のお話。

1 Kiss me now . (いまあたしにキスして)

「今、キスして」

「……え？ 今なんて？」

「だから、今、あたしにキスして！」

きよとんとした顔をしているシユンに苛立ちを覚えながらも、ユイはニコニコしながらその言葉を繰り返す。

最近デートにも誘ってくれないし、この前なんかあたし達が付き合い始めてから一年の記念日だったのに、何にもお祝いしてくれなかった。

こんなのさあ、あたし一人で盛り上がってバカみたいじゃん。これでキスしてくれなかったら、今度こそ別れてやる！

シユンに顔が見えないように俯いて、ユイは目尻に出て来た涙を拭った。

シユンとユイは、小学生の時からずっとクラスが同じで、おまけに家も隣。幼なじみとして、何でも言い合える仲だった。

中学二年生になると、二人はいつもどこかでお互いのことを考えるようになってきた。それが恋だと気付くまで、少しだけ時間が掛かったのだが。

そして、中学三年生の夏に、どちらかが告白したのでもなく、あくまでも自然に恋人同士になったのである。

それから二人は、ほぼ毎日一緒に過ごしていた。

去年のクリスマスは一日中一緒に過ごしたし、今年の夏は海沿いの街ヘドライブに行き、三泊四日の旅行をしてきた。

そんなに仲が良かったのに。そろそろあたしに飽きてきたのかな、とさえユイは思った。

「ね、キスしてくれないの？」

「……だっていきなり言われたら、そ、そりゃ戸惑うじゃないか」
「シユンの、ばか」

そう言つとユイは、ぱたぱたと走つて部屋を出て行つた。

「あ、ちよつと待てよー！」

慌てて立ち上がり、ユイの後を追い掛けてシユンは走り出す。

何処へ行ったのかは分からないけれど、ユイを見つけたらいきなりキスをして、吃驚させてやろうと考えながら。

「はあ……シユン怒つちやつたかな。今度こそあたし達おしまいかな」
あ

近くの公園に在るブランコを漕ぎながら、ユイは独り言を呟く。
それにしても今日は寒い。そう言えば天気予報で、『今日は今年一番の冷え込みです』って言つてたっけ、とユイは白い息を吐きながら考えた。

シユンの家に行くだけだし、とマフラーも巻かないで来てしまったから、時々吹き付ける冷たい風がいつもよりも冷たく感じた。
ため息を吐きながらブランコを漕ぎ続けていると、ユイの頬には涙が伝つた。

「あたしが悪いんだし、あたしが泣いたらおかしいよね……」

「ユイ！ はあ……探したんだからな」

「しゅ……シユ、ン？ 探してくれたの？ ほんと？ 何で、なんで？」

ユイの表情がパツと輝く。

問い掛けるユイに、シユンは恥ずかしいからなのか、それとも走ってきたからなのか頬を赤くして呟いた。

「心配だったからに決まってるだろ、その前に」

首を傾げるユイに、シユンは林檎の様に真っ赤な顔を近づけていく。

さっきユイが出て行ってしまってから、シユンが密かに実行しようと決めていた『キス』をユイの唇に落とす。

ちゅ、と軽く触れるだけのキスだったけれど、二人は湯気が立ちそうなくらいに顔を熱くして、俯いてしまった。

「シユン」

「何？ もう一回？」

「する？」とにっこり笑いながら首を傾げたシユンの頬を軽くつねり、真っ赤の顔のままユイは囁く。

「ち、違っつ！ 記念日も忘れてたし、デートも誘ってくれなかったけど、これで全部チャラね」

「あ……！」

「今度デートに誘ってくれなきゃ、本当に別れるの考えちゃうからね！」

べー、と舌を出し、くすくすと笑うユイを見て、シユンもつられて笑う。もうすぐ日が暮れるというのも忘れ、二人は笑い合っている。

た。

夕日をバックに、見つめ合った二人は、また
。

> f i n <

1 Kiss me now・(いまあたしにキスして)(後書き)

この物語は実話ではありません

サブタイトル提供：あいうえおだい(AIUEOdai)さま

<http://hisame.oops.jp/a-z/>

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1896b/>

キス ~Lovers Wish~

2010年10月23日09時56分発行